

PPC64 RTパッチ性能計測

— アップデート版 —

東芝 ソフトウェア技術センター
2007年 2月 22日

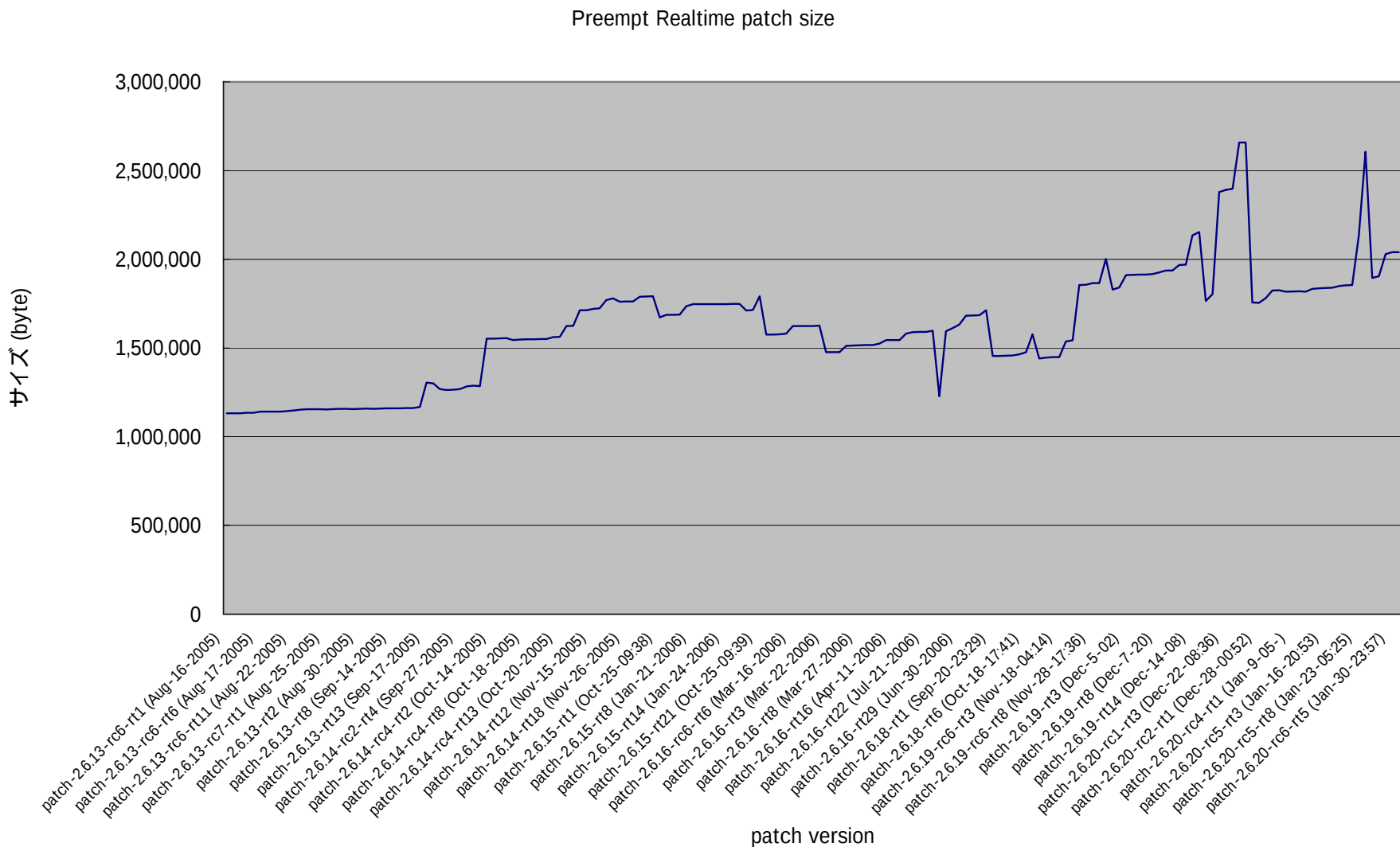
目次 - 前回と同じ内容はタイトルを灰色にしています

- 目的
- Cellリファレンスセット
- 計測方法
- 計測結果
- まとめ

realtime preempt patch

- **Ingo Molnar氏らによるリアルタイム性向上のためのパッチ**
  - Linux Kernel スケジューラのmaintainer
  - Thomas Gleixner氏、他
  - 2004年頃から。mainlineに取り込まれた部分もある
  - Kernel内にpreemption point を追加
    - spinlock → mutex w/ priority inheritance
    - hard/soft interrupts → kernel threads
    - 割り込み禁止区間の短縮
    - etc.
  - x86_64, i386, arm, mips, powerpc(32), ...
  - <http://people.redhat.com/mingo/realtime-preempt/>
- **関連URL**
  - <http://rt.wiki.kernel.org/>
  - <http://tree.celinuxforum.org/CelfPubWiki/JapanTechnicalJamboree11>
  - <http://opentechpress.jp/developer/article.pl?sid=05/01/30/227247>
  - <http://www.atmarkit.co.jp/fembedded/rtos02/rtos02c.html>

realtime preempt パッチサイズ



目的

- **PPC64 RTパッチの有効性検討**

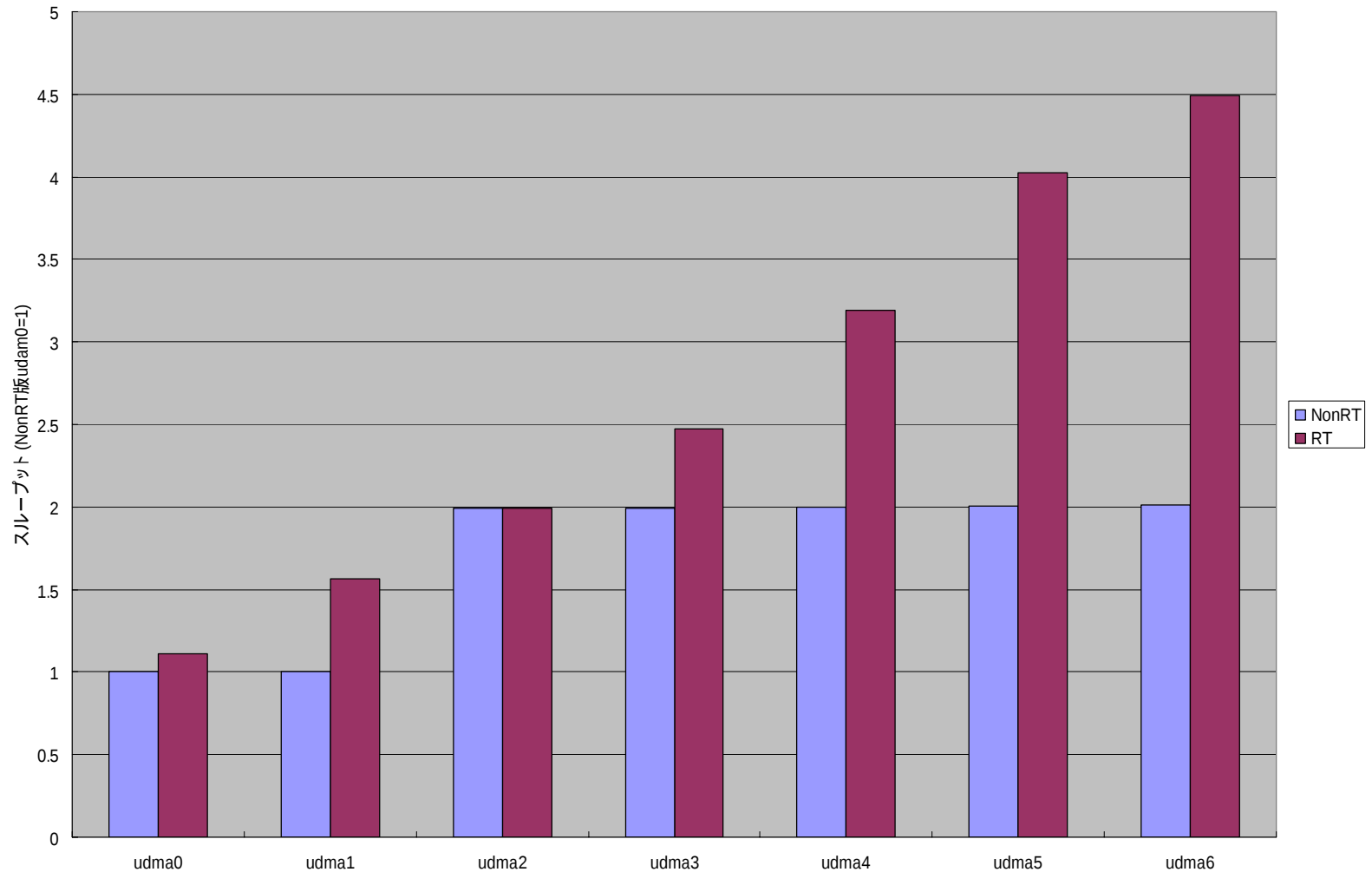
- 実装はしてみたが、効果の程は？ 計ってみよう！
- 対象：NonRT版 kernel vs. RT版 kernel
- 目安：応答性能 vs. 処理性能
- 応答性能：lpar割込み遅延時間
ping round trip time
- 処理性能：netperf, hdparm

今回の目的

- **申し訳ありません！**
  - カーネルにバグを入れ込んでいました！
  - PowerPCへのRTパッチ移植に関するミスです
    - 影響はNonRT版のみ(と思われます)
- **今回、再計測した結果をご報告します。**

HDD性能例 (不具合のあったカーネル)

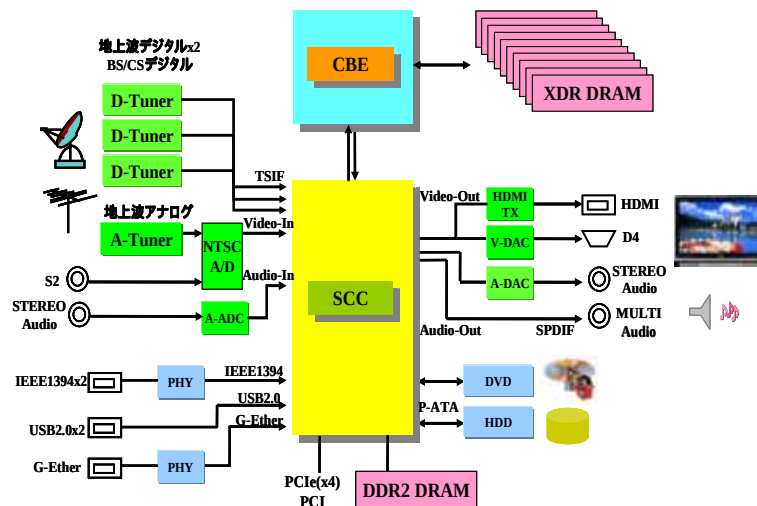
HDDスループット



Cellリファレンスセット

- <http://www.toshiba.co.jp/tech/review/2006/06>
- <http://www.semicon.toshiba.co.jp/product/micro/cell/reference.htm>

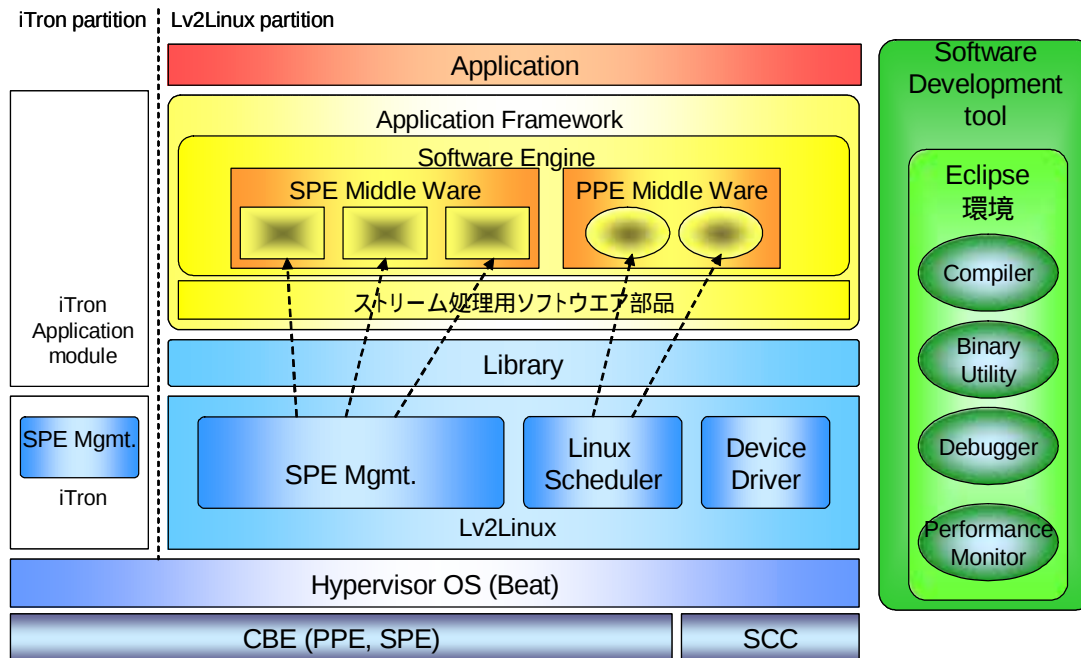
- HW



- SW

- ハードウェア資源を管理するハイパーバイザOS
- Lv2Linux(論理パーティションIpar上のLinux)
  - 2.6.12.3 kernel
  - 2.6.12.final-V0.7.51-33.patch (<http://people.redhat.com/mingo/realtime-preempt>)
    - 既に削除されていますが...

CellリファレンスセットSW構成



基本ソフトウェアとして Hypervisor OS 「Beat」、
ゲストOSとして「Lv2Linux」を提供

SPEの効率的利用を可能にするSPEマネージメント

SCCの多様なIOに対応したデバイスドライバ

Eclipse統合開発環境: コンパイラ、PPE/SPE統合
デバッガ、パフォーマンスモニタ, etc.

カーネルコンフィギュレーション

- 次の2種類のカーネルで測定

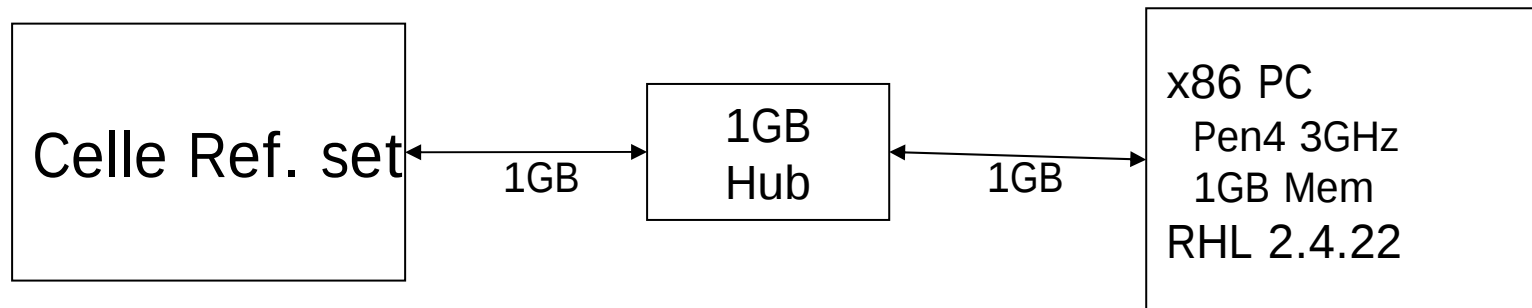
- NonRT版

- PREEMPT_NONE=y
    - #define PPC64_TLB_BATCH_NR 1

- RT版

- PREEMPT_RT=y
    - PREEMPT系のデバッグオプションなし
    - #define PPC64_TLB_BATCH_NR 1

- 一部、NonRT版 + PREEMPT_{HARD,SOFT}IRQS=y



RT性能計測方法

- **lpar割込み応答性能**

- 論理パーティション切替え時に発生する割り込みを利用
- 周期的にlpar割込み発生
- ハンドラ到着時刻とlpar切替え基点との差分

- **ping応答性能**

“ping f c 100 [-s 4000 / -s 8192] <addr>”

- 出力の rtt min/avg/max を計測
- 受信のみ
  - Busybox v1.01 ping には “-f” option がなかった

- **処理性能**

ネットワーク *“netperf H <addr>”, v2.4.1*

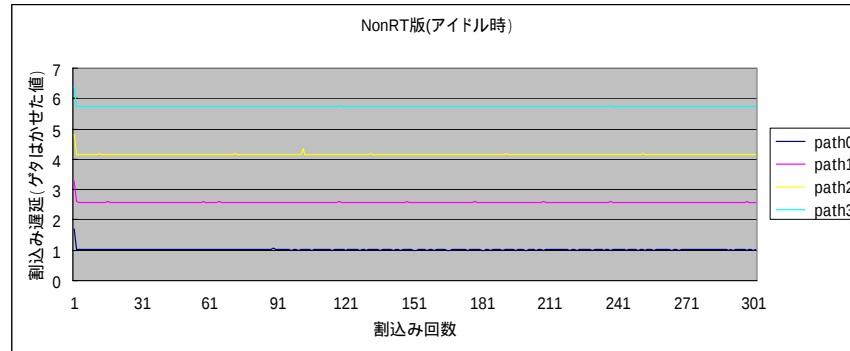
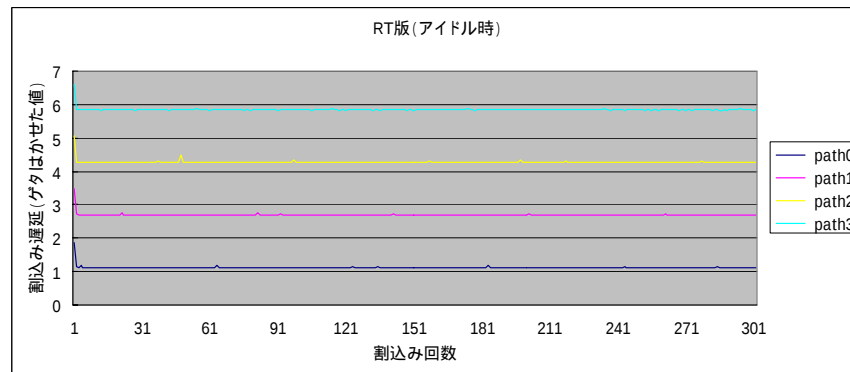
HDD *“hdparm t /dev/had”, busybox v1.01*

RT性能計測

- **lpar 割込み応答性能**
- ping 応答性能
- **処理性能**
  - ネットワーク netperf
  - HDD hdparm

Ipar割込み応答性能 – NonRT&RT版(アイドル時)

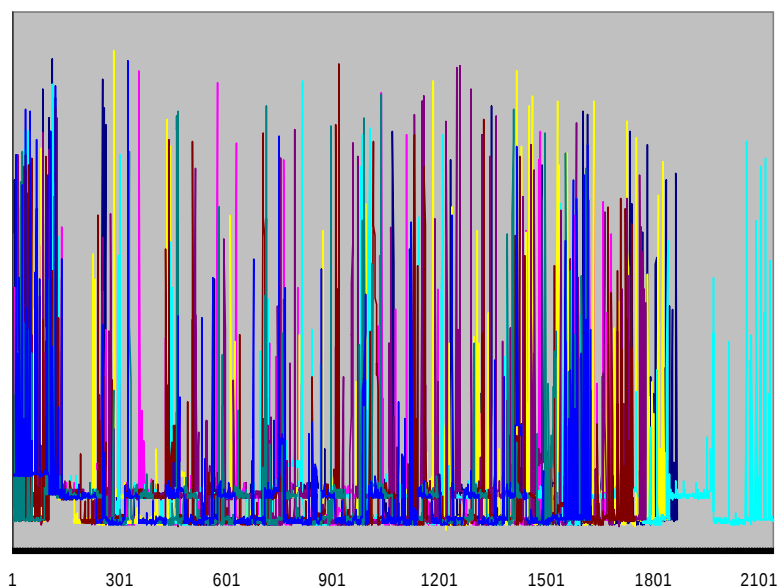
- 負荷のない状態では差異は見られず



前回のIpar割込み応答性能(負荷あり)

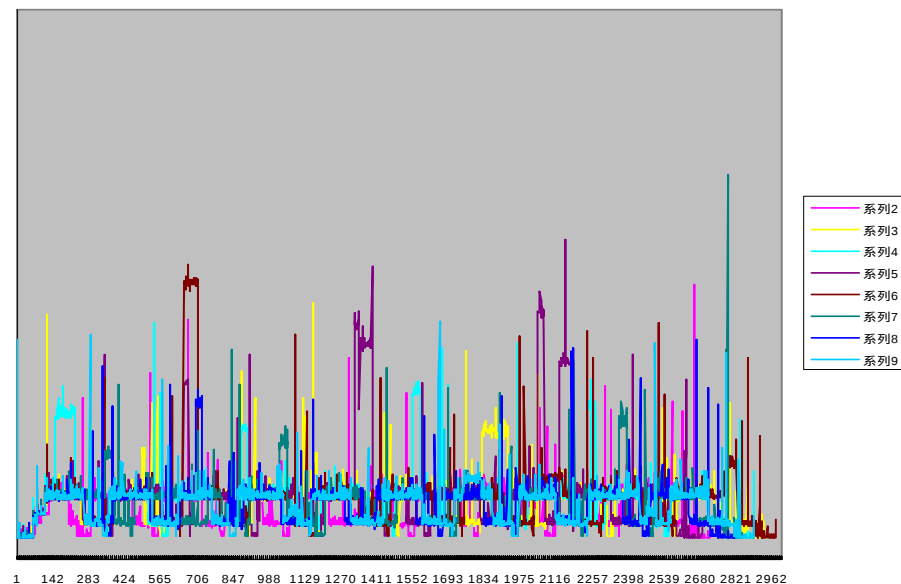
NonRT版

Ipar割り込み遅延

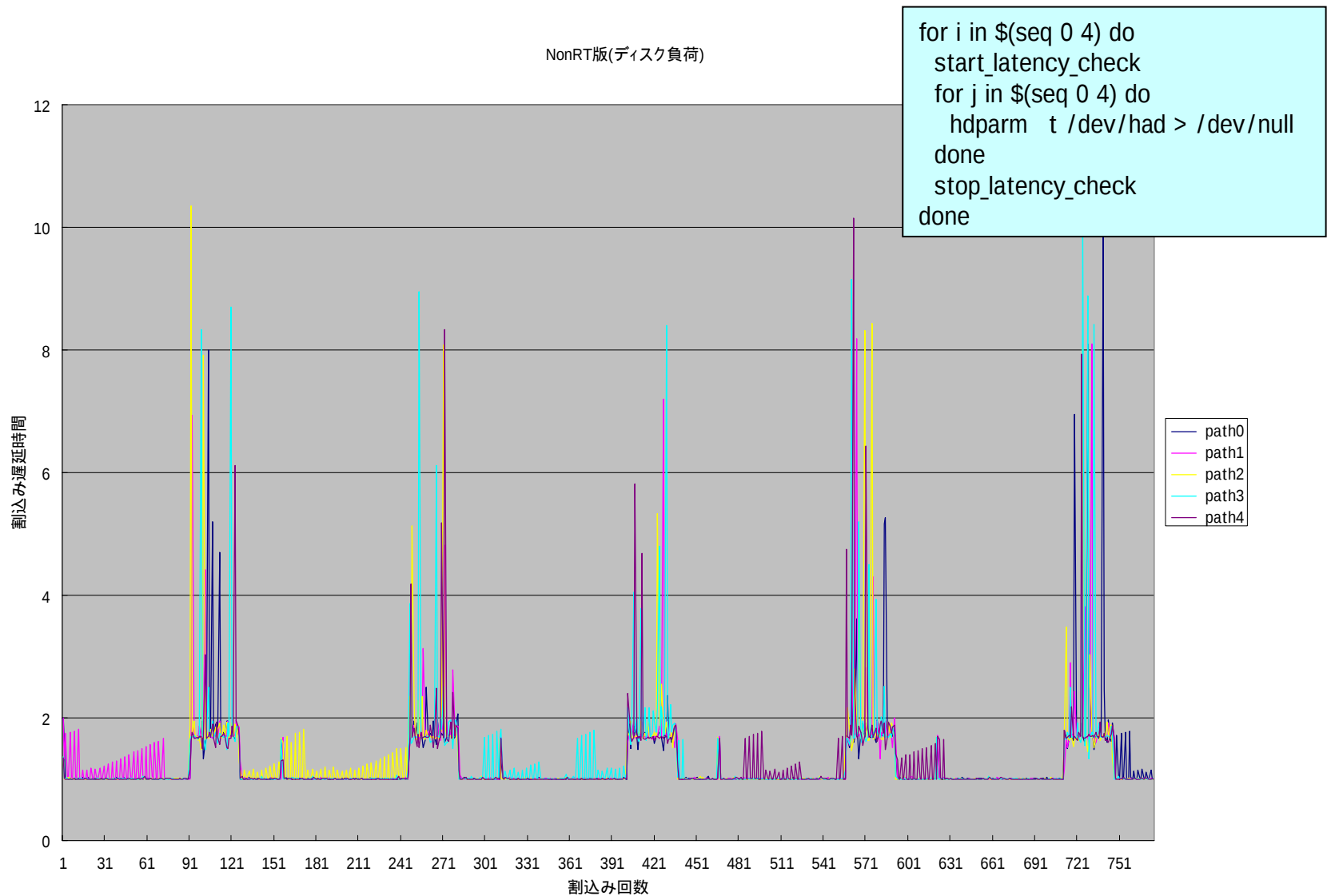


RT版

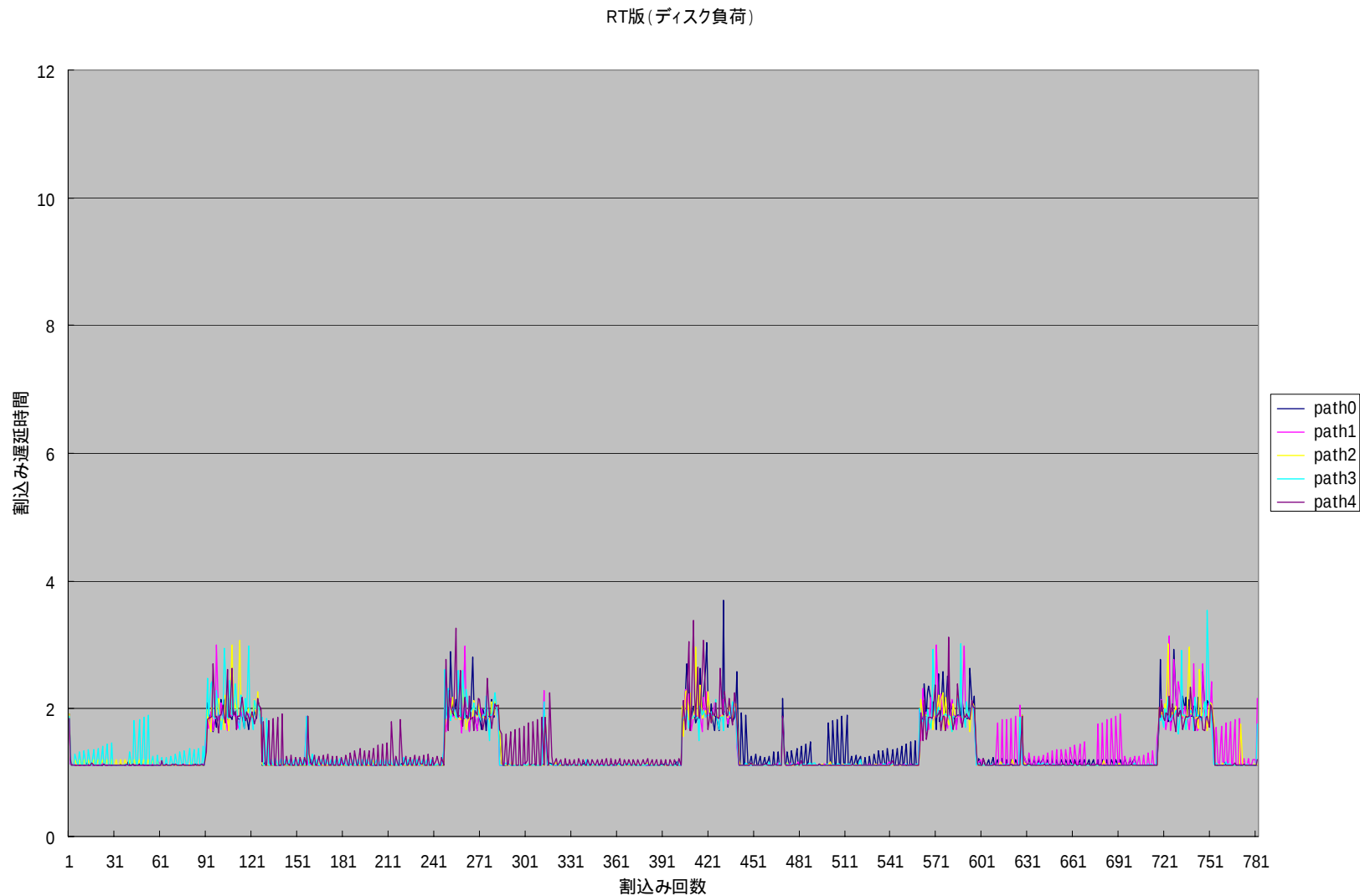
Ipar割り込み遅延



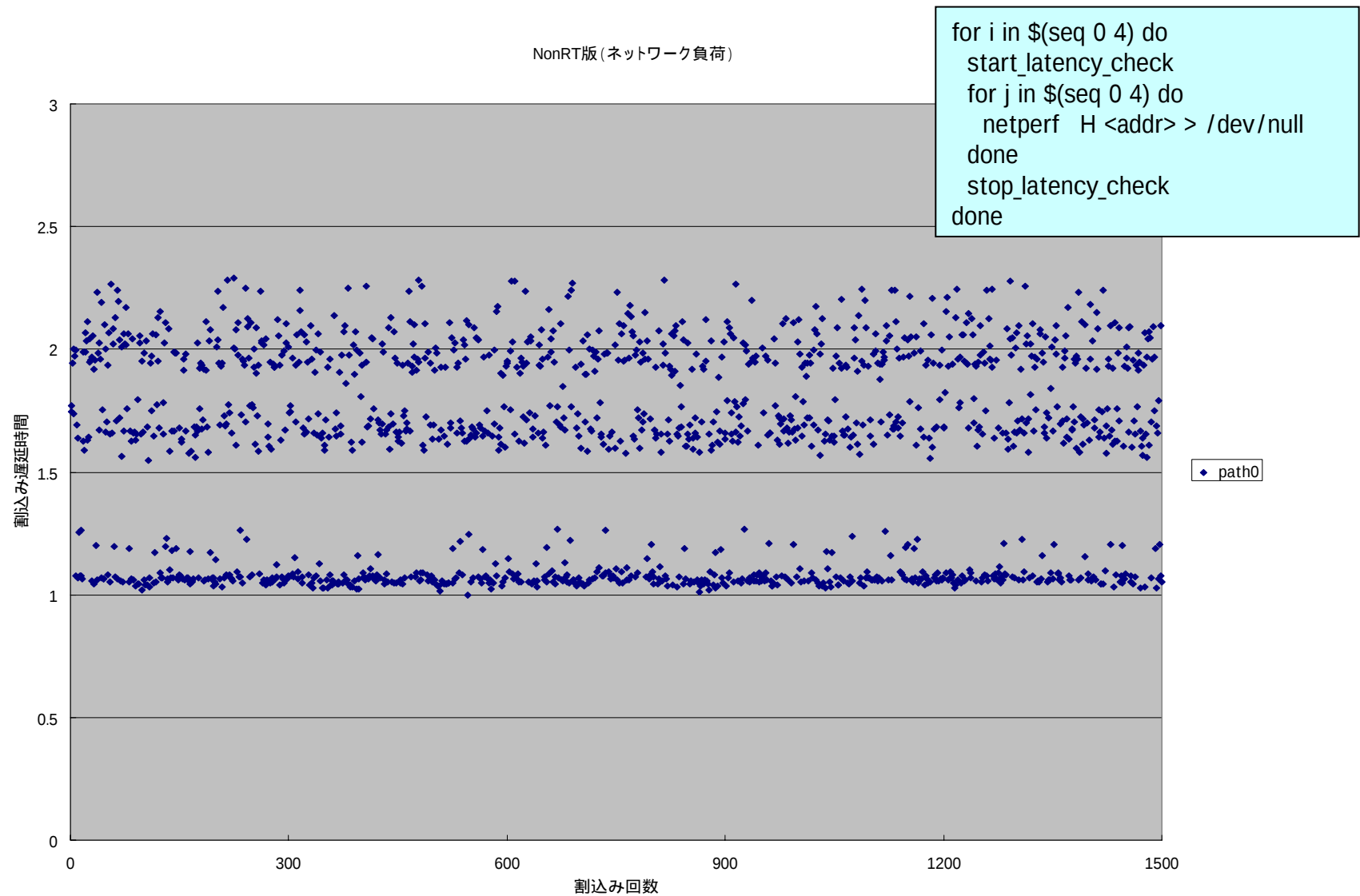
割込み遅延時間 – NonRT版(ディスク負荷時)



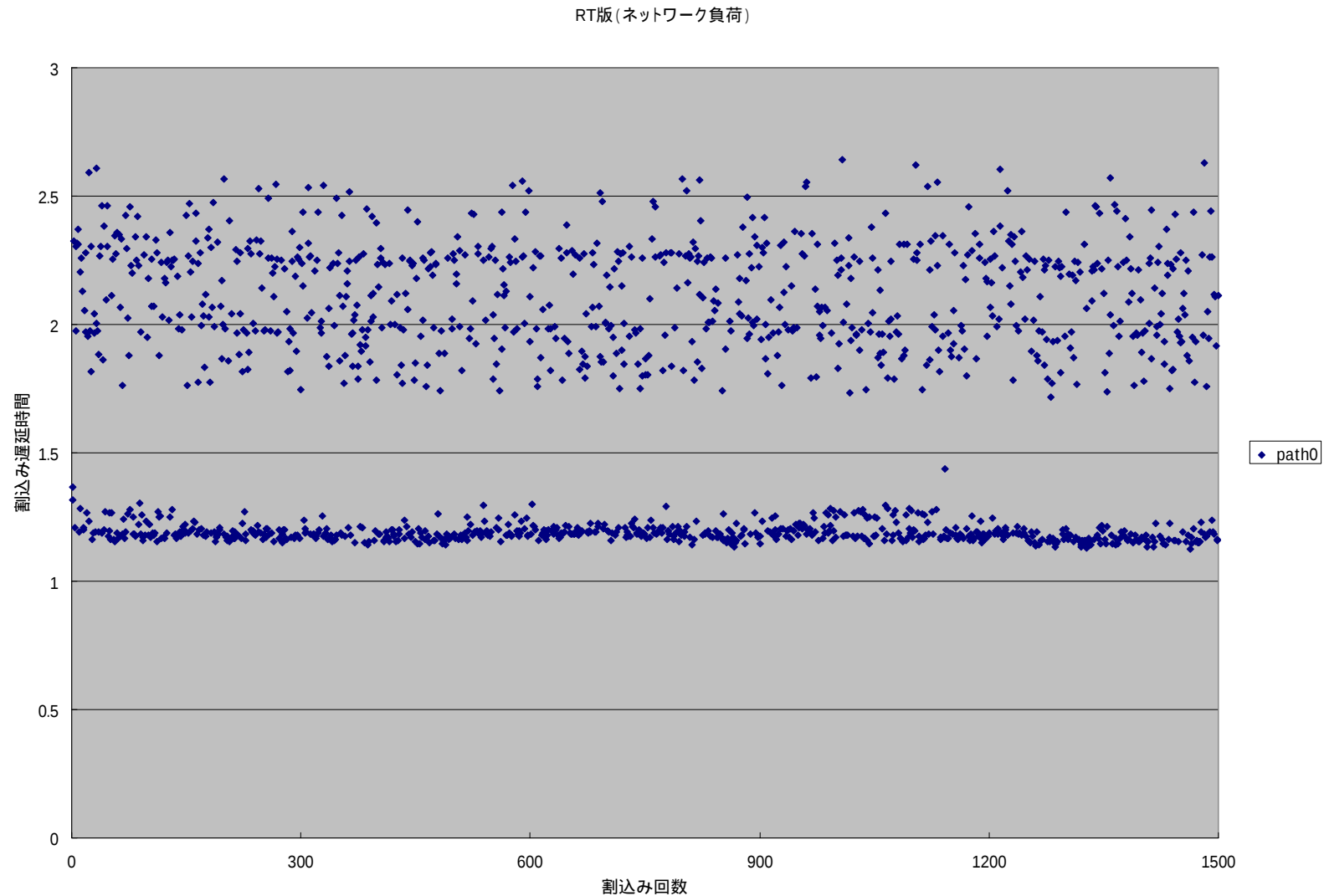
割込み遅延時間 – RT版(ディスク負荷時)



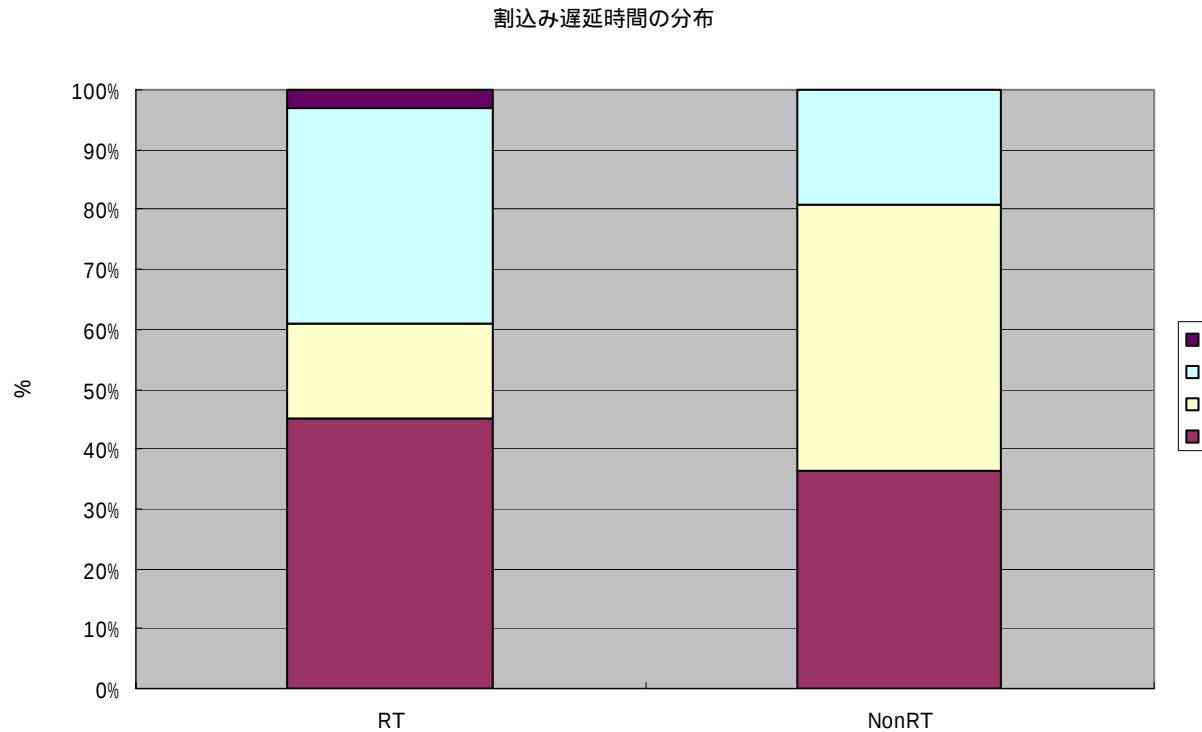
割込み遅延時間 – NonRT版 (ネットワーク負荷時)



割込み遅延時間 – RT版(ネットワーク負荷時)



割込み遅延時間 – ヒストグラム(ネットワーク負荷時)

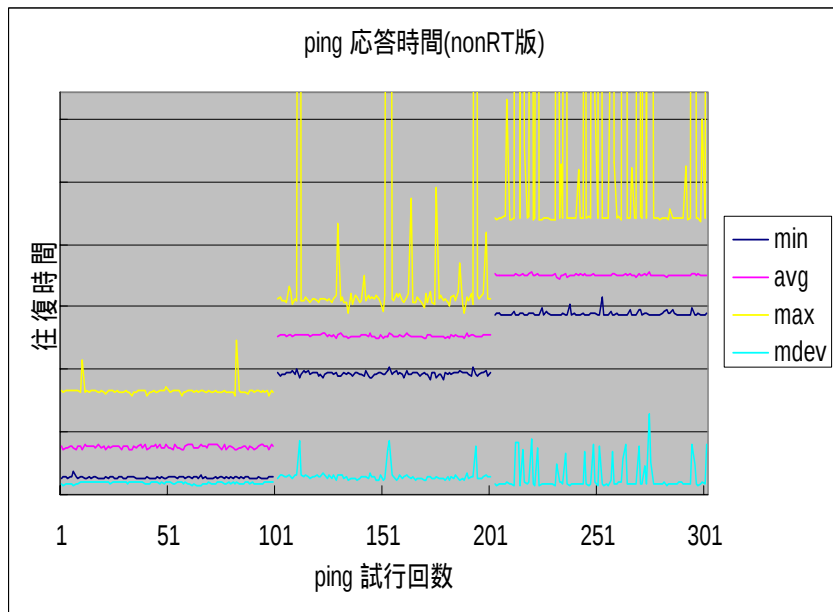


RT性能計測

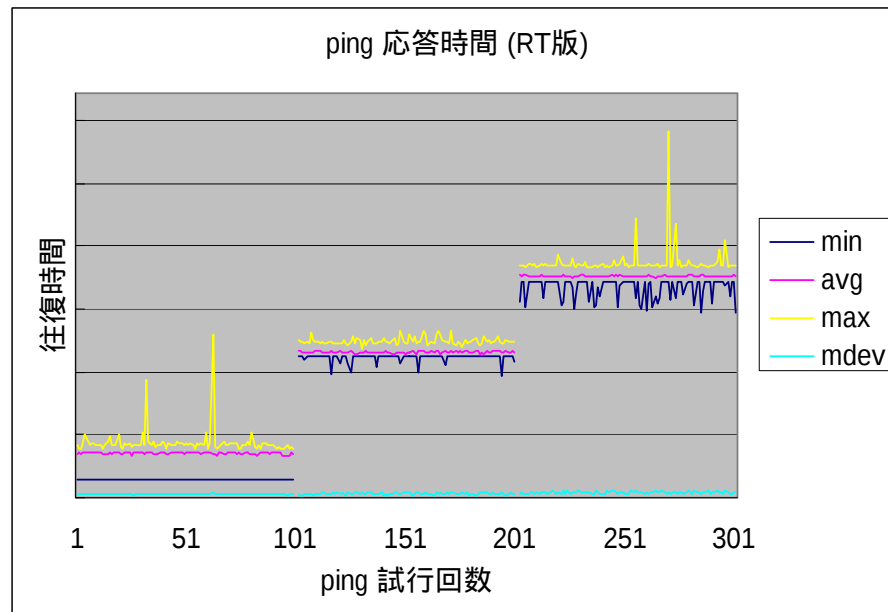
- Ipar 割込み応答性能
- ping 応答性能
- 処理性能
  - ネットワーク netperf
  - HDD hdparm

前回の ping -f 測定結果

NonRT版



RT版



- 試行回数1-100: ping -f -c 1000
- 101-200: ping -f -c 1000 -s 4000
- 201-300: ping -f -c 1000 -s 8192

ping -f 測定結果

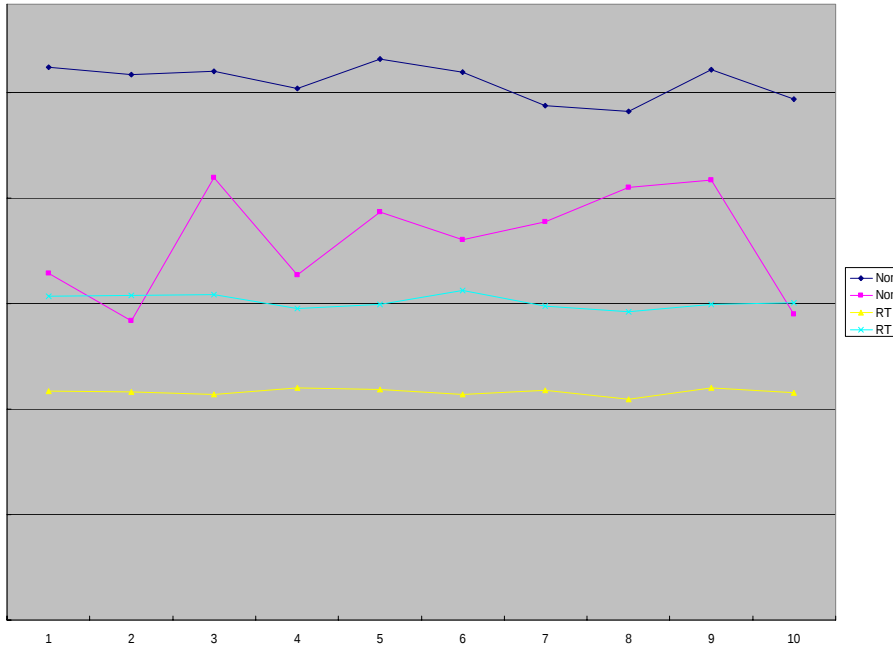
- 今回はお出しできるデータがありません。

RT性能計測

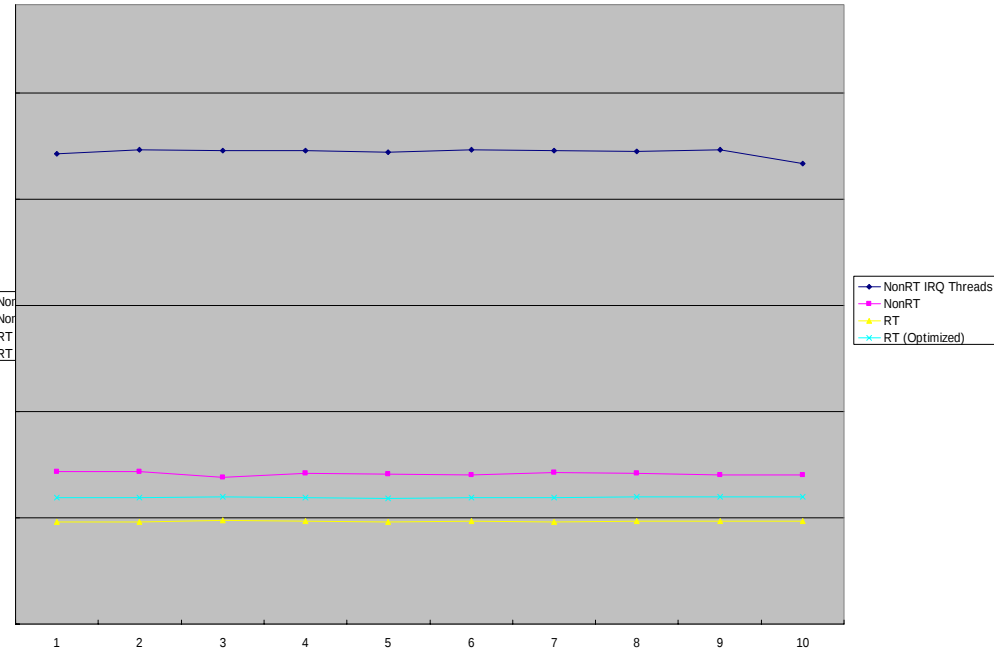
- Ipar 割込み応答性能
- ping 応答性能
- 処理性能
  - ネットワーク netperf
  - HDD hdparm

前回のスループット - ネットワーク性能

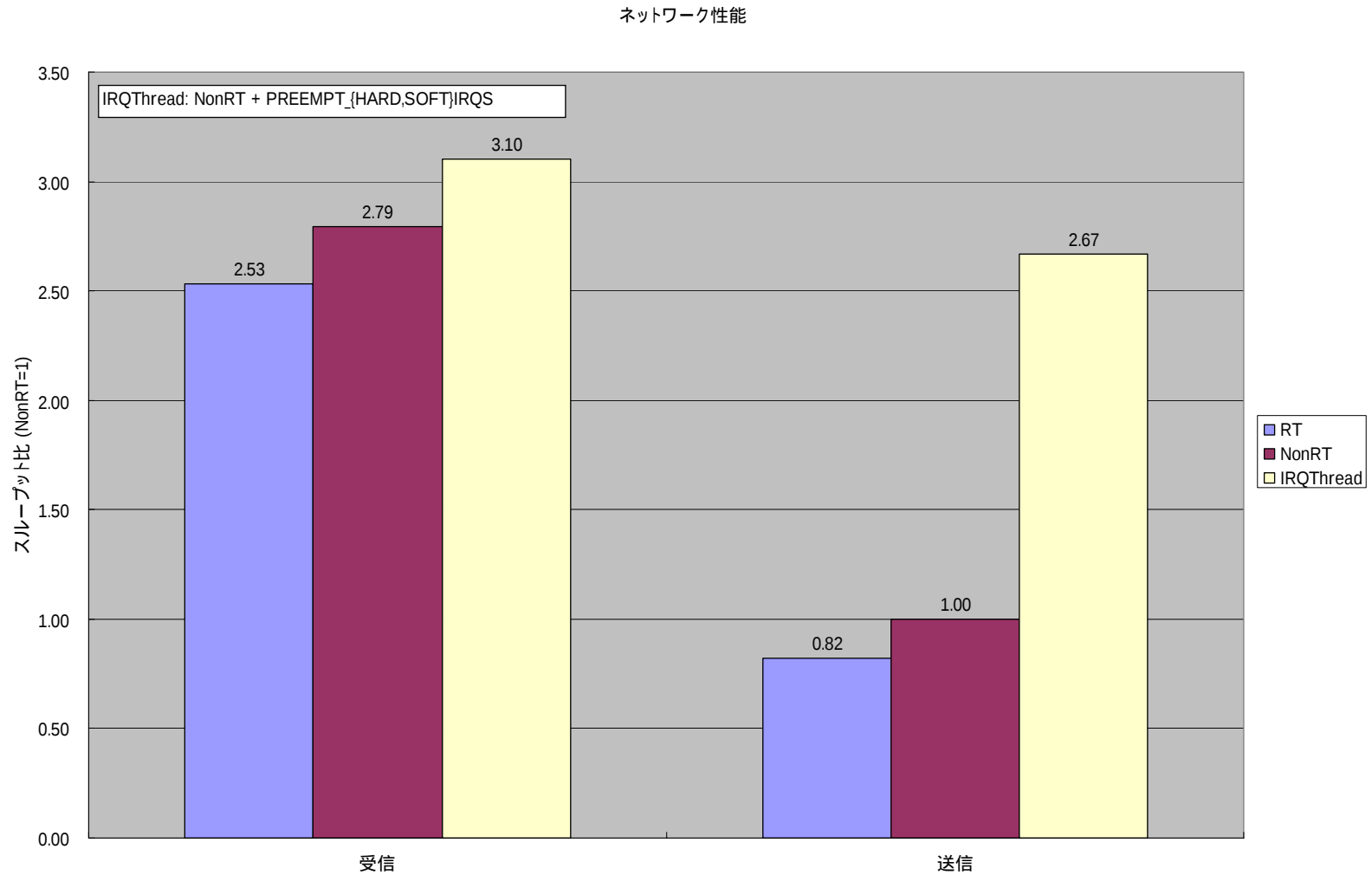
SCC GbE: netperf (Receive)



SCC GbE: netperf (Send)

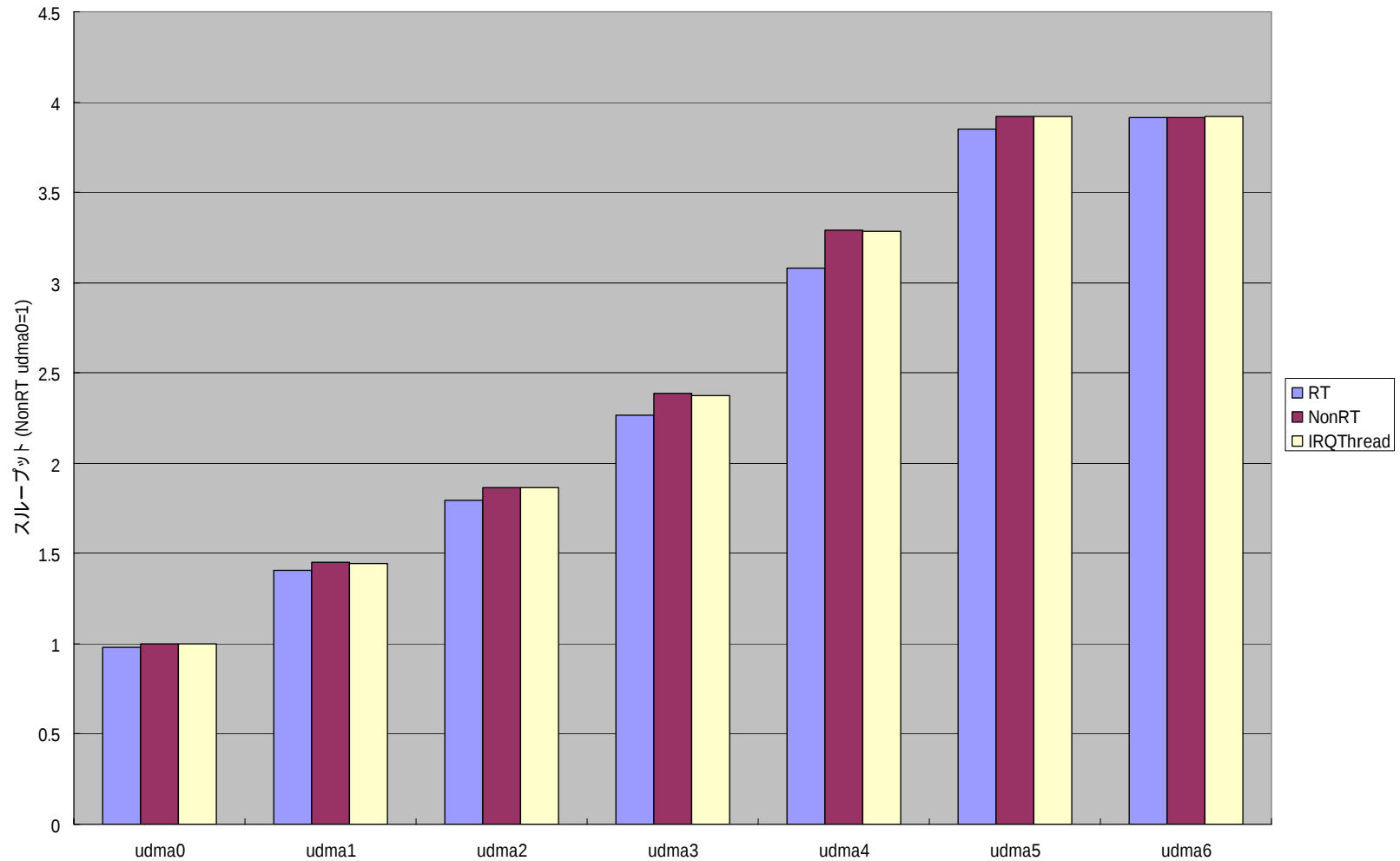


スループット - ネットワーク性能

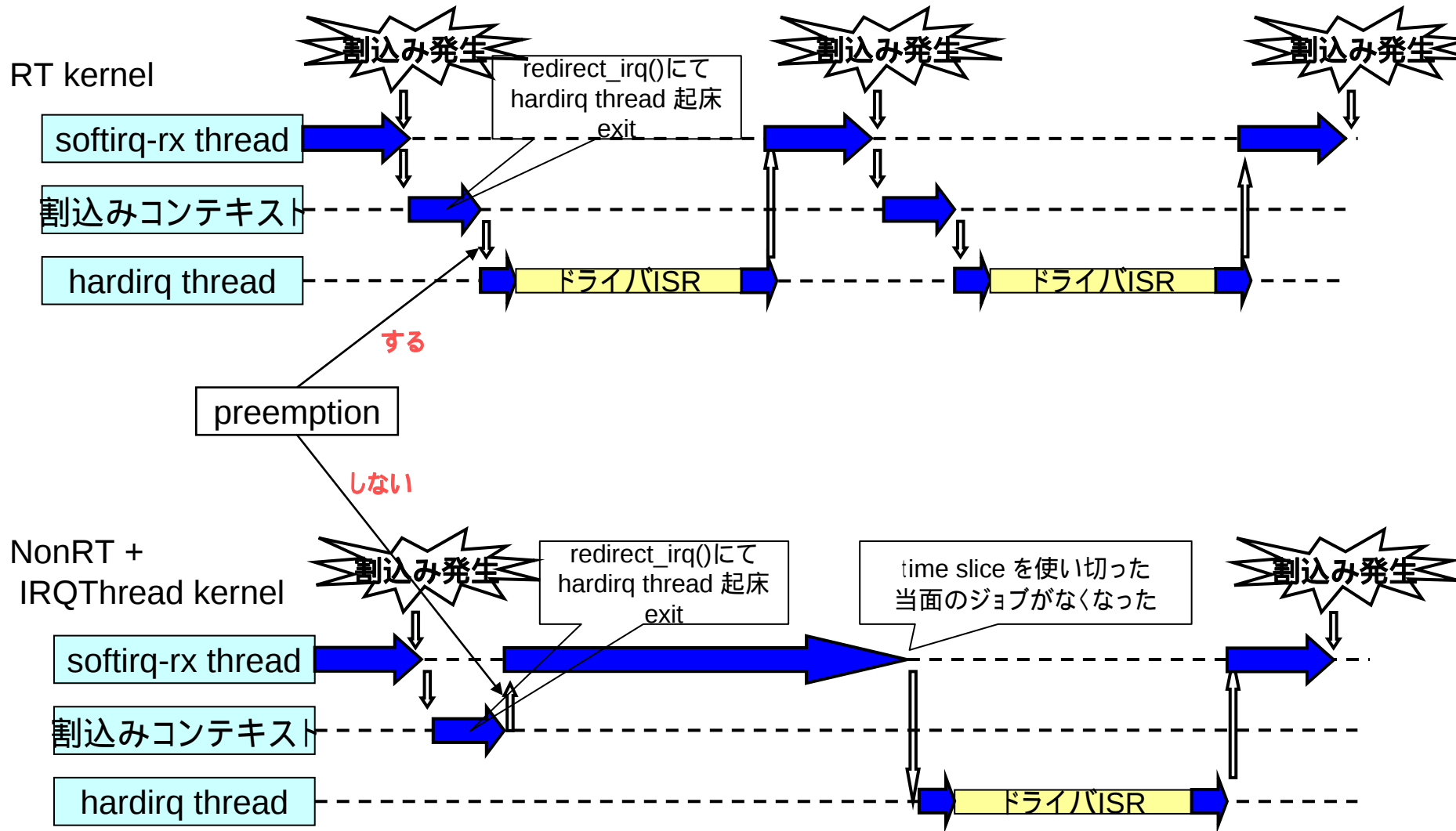


スループット - ディスク性能

ディスク性能



NonRT + IRQThread カーネルの性能が良いのは...



まとめ

- **RT vs NonRT**

- lpar割込み応答時間は負荷の種類に依存
  - HDD → RT版優位
  - Network → 大差なし？ 若干RT版が悪い
    - 元々遅延が少ない場合は、IRQthreadへのcontext switch オーバヘッドが効く
- スループット
  - hdparm → RT版健闘最悪でも ▼ 7%
  - netperf → RT版特に受信が ▼ 9%、送信は ▼ 18%
    - 何パーセントなら許容範囲？

- **NonRT + IRQThreadカーネル**

- netperf送信時には有利に働いた可能性
  - 余計？な割込みは後まわし
  - コントローラのFIFOに溜まったパケットを一括処理？
- 但し、latencyには悪い影響を与えそう
- 疑問: そもそもPREEMPT_NONE と PREEMPT_HARDIRQSは両立するよう意図されているのだろうか？

今後の課題

- **カーネルバージョンアップ**

- 2.6.20 and/or 2.6.21

- RTパッチlatest: patch-2.6.20-rt2 as of 2/6/2007

- **RT性検証・性能向上**

- 更なる性能測定

- 不要な raw_spinlock_t ?

- ドライバ

- **Linux Community/CELFへ**

- 移植パッチ提供

- PowerPC その他のプラットフォームへ

- powermac...

TOSHIBA

Leading Innovation >>>